

第1学年 生活科学習指導案

指導者

1 単元名

～ っ子ほうじょうやをひらこう～
あきのものでたのしくあそぼう！

2 指導観

こんな子どもたちだから

子どもたちは、春と夏に舞鶴公園に行き、楽しく遊び、自然とかかわりながら遊ぶことの楽しさに気付いている。秋の過ごし方に関するアンケートからは、子どもたちは、「秋は好きである」と72%が感じているが、「秋のもので遊んだことがある」は57%で、「何とか工夫して楽しく遊びたい」という気持ちをもっている。

(意欲・関心)

見たことや分かったこと、気付いたことなどを絵や文に表現し、それをもとに友達や教師に話し、聴き合うことができるようになってきている。

(学び方)

季節の変化を感じたり、自然のものに興味をもって、見たり触れたりして、それを生かして、みんなで遊ぶ楽しさに気付いてきている。

(気付き)

こんな教材を使って 単元のねらい

本単元は、「秋の自然で遊んだり、製作を楽しんだりしていく中で、季節の変化や秋のよさに気付くこと」や「日頃からかかわっている園児と作ったものを使って遊び、交流を深めること」をねらいとしている。

学習指導要領への意義

舞鶴公園に行き、思いきり遊んだり、秋のものを探し、それを使って、友達と一緒に作ったり、園児と一緒に遊んだりすることで、秋の自然を取り入れて遊ぶ楽しさや秋の自然のよさや季節の変化に気付かせる。このような教材を取り上げることは、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心、自分の生活を工夫したり楽しくしたり、遊びを工夫し、みんなで遊びを楽しんだりできるという上で価値高いと考える。

テーマへの意義

子どもたちにとって、秋の自然に触れ、自分なりの感じ方を大切にしながら、秋のもので作ったものの遊び方を工夫し、ミニなかよしタイムでかかわっている園児と放生会スケッチ会を想起して、「赤坂っ子ほうじょうや」で遊ぶことは、知的な気付きを深め、身近な対象にかかわる力を育て、豊かな学びをつくる上で意義深いと考える。

こんな手立てで(方法) つかむ段階では

1学期舞鶴公園に行ったことを想起させ、どんな様子だったかを話し合う。今の通学路や運動場の様子などを見て、身の回りの秋の自然に目を向けさせる。舞鶴公園へ行って、気付いたことを出し合い、活動への見通しと意欲をもつ。

さぐる段階では

持ち帰った秋のもので、友達と作ったり遊んだりして、さらに楽しいものになるように工夫する聴き合い活動を設定する。
・今までの自分の作ったものと比べて、友達の気付きを受け入れるよさに気付く。身近な秋のもので、遊ぶものを作る楽しさに気付く。

あらわす段階では

放生会スケッチ会を想起して、秋のもので作ったもので、園児と一緒に遊ぶ計画を立てる。友達と遊び方の工夫を聴き合い、赤坂っ子ほうじょうやを開いて、園児に進んでかかわる。一緒に楽しく遊ぶ活動を通して、秋のもので遊ぶ楽しさや秋のよさや自然のすばらしさに気付く。これまでの学習を振り返って、ポートフォリオ評価をする。

園児と先生

目指す子どもの姿

季節の変化に関心を持ち、自ら課題をつかんで意欲的に活動して、秋の自然のよさを感じながら楽しく遊ぼうとすることができる。

(意欲・関心)




秋のものを使って遊びに使うものを作ったり、気付いたことを絵や文に表現したりして、遊び方の工夫を聴き合うことができる。



(学び方)

日常生活において自然とかかわりを深め、聴き合いを通して秋のよさや季節の変化を感じ、遊びや生活を工夫する楽しさに気付くことができる。

(気付き)

4 指導計画 (計19時間)

段階	主な学習活動と内容	評価規準と子どもの姿 = 評価規準 ・ = 意識	指導上の留意点と評価方法 = 留意点 = 評価方法	配時
つかむ	<p>1 身近な対象と出会い, 学習問題をつくる。</p> <p>(1) 春や夏に行った舞鶴公園はどんな様子だったか振り返り, 通学路や運動場から秋を見付ける。</p> <p>(2) 舞鶴公園に秋を探しに行き, 自然と触れ合いながら遊ぶ。</p> <p>(3) 舞鶴公園で見付けたことや気付いたことを発見カードに書き, 自分の思いや願いをもつ。</p> <p>(4) 秋のもので楽しく遊ぶ方法を考え, 学習問題をつくる。</p> 	<p>春や夏の舞鶴公園の様子を想起している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春は桜の花びらをみつけたね。 ・雨の日はカップを着て遊んで, 楽しかったね。 ・ドングリが落ちていたよ。 <p>舞鶴公園の秋の様子や季節の変化に気付いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱが前は緑色だったのに, 赤色や黄色になっている, 不思議だね。 ・いろいろな形のドングリがあってももしろいね。 ・ドングリが木の下に落ちていたから, 発見カードに書こう。 	<p>通学路や運動場の様子を見て, 以前と変わっているところを自由に出させる。</p> <p>《支援》 学習プリント・発言分析</p>  <p>春や夏の様子と比較して考えることができるように, 子どもたちに問いかけながら探検する。《支援》 活動の様子を観察</p> <p>探検して気付いたことをマップに貼らせるようにする。《支援》 発言分析・ポートフォリオ分析</p> <div data-bbox="1018 1151 1362 1352" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>交流活動 全体 ・対象と出会い, 思いや願いをもつ聴き合い活動</p> </div>	5
さぐる	<p>2 見付けてきた秋のもので作ったり, 遊んだりする。</p> <p>(1) 自分が作ってみたいものを作って遊ぶ。</p> <div data-bbox="236 1682 979 1845" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><作品例> おもちゃ...マラカス でんでん太鼓 ケン玉 など かざり...マツカサツリ 冠 お面 写真立て など ゲーム...ドングリゴマ ドングリめいろ など</p> </div> <p>(2) それぞれが作ったもので遊んでみて, 友達と一緒に遊んでみたいものを考え, 作る計画を立てる。</p>	<p>秋の自然のものを使って, 素材の特徴を生かして, いろいろなものを作ることができることや作る楽しさに気付いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは, 幼稚園の時に作ったドングリゴマを作りたいな。 <p>・ドングリめいろは, 一緒に遊ぶと楽しそうだから, 作ってみたいな。</p>	 <p>作りやすいように拾ってきた物や必要な材料や道具を豊富に用意し, 自由に選べるようにし, 道具については使い方に注意させ, 指導を行う。《支援》 活動の様子を観察</p> <p>みんなで遊ぶことを通して, 友達と一緒にやってみて楽しかったものを考えさせる。《支援》 発言分析</p>	2 2

さ ぐ る	<p>(3) 友達と一緒に遊びながら工夫して、遊ぶものを作る。</p> <div data-bbox="284 271 611 470" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><お店の内容の例> けんだまやさん ドングリめいるやさん まとあてやさん どんぐりごまやさん</p> </div>	<p>友達と一緒に遊びながら、作り方を工夫している。 ・ぼくは、ドングリゴマを作ろう。 ・うまく回らないな。どうしたらいいかな。よく回っている友達に聞いてみよう。</p>	<p>友達同士で見合って、作ることができるように、いいところをほめたり、問いかけたりする。 《支援》 活動の様子を観察</p>	2
	<p>(4) 一緒に、遊んだりやってみたりして、より楽しくなるように遊び方を工夫する。</p> <div data-bbox="284 680 587 880" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><遊び方の工夫の例> ・得点を付ける ・時間を決める ・やりやすくする ・障害物を作る</p> </div>	<p>友達と聴き合い、遊んでみて、遊び方を工夫している。 ・スタートとゴールを決めよう。 ・さかなつりやさんのように得点を付けて、競争すると楽しいね。</p> <div data-bbox="826 712 949 846" style="text-align: center;">  </div>	<p>遊び方を工夫できるように聴き合い活動を設定し、そのよさを取り入れて工夫できるようにする。 《支援》 活動の様子を観察・ポートフォリオ・フリップ分析</p>	2
あ ら わ す	<p>3 秋のもので作った作品で園児と一緒に遊ぶ。</p> <p>(1) 園児と一緒に遊ぶ計画を立て、遊ぶものを見直したり、付け加えたりする。</p> <div data-bbox="260 1104 611 1182" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>赤坂っ子ほうじょうやをひらこう。</p> </div>	<p>園児のことを考えて、遊び方や作り方を工夫している。 ・ミニなかよしで遊んでいる幼稚園のお友達に来てもらって一緒に作ったもので遊びたいね。 ・放生会スケッチ会で見たようなお店にしたいね。 ・ルールを分かりやすくしたほうがいいね。</p>	<div data-bbox="1018 696 1358 898" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>交流活動 同質グループ ・体験活動を通して、思いや願いを広げる聴き合い活動</p> </div> <p>園児と一緒に楽しく遊ぶために、ルールを工夫したり、作ったものを見直させたりする。 《支援》 活動の様子を観察</p>	2
	<p>(2) お店を盛り上げるために場づくりをしたり、園児と楽しく遊ぶ方法を考えたりする。</p> <p>(3) 友達と聴き合い、「っ子ほうじょうや」を開いて、園児と一緒に楽しく遊ぶ。</p> <div data-bbox="443 1630 587 1776" style="text-align: center;">  </div>	<p>意欲的に「っ子ほうじょうや」の準備をしている。 ・分かりやすくルールを話せるように、練習しよう。</p> <p>園児に進んでかわり、分かりやすくルールを教え、楽しく遊んでいる。 ・どの遊びをしたいのか聞いてみよう。</p>	<div data-bbox="1241 1144 1353 1279" style="text-align: center;">  </div> <p>園児のことを考えながら、どんな場にしたらいいか、遊び方が分かりやすいか考えて準備させる。 《支援》 活動の様子を観察 園児と一緒に楽しく遊べるように広めの場を設定する。 《支援》 活動の様子を観察・自己評価カード分析</p>	2
	<p>4 単元全体を振り返る。 公園で遊んだことや落ち葉や木の実を使って友達や園児と楽しんだことをまとめる。</p>	<p>秋のよさやいろいろな遊びができることに気付いている。 ・秋のものでいろいろな遊びができて、秋っておもしろいな。</p>	<div data-bbox="1018 1682 1358 1883" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>交流活動 異質グループ ・様々な見方を通して知的な気付きを深める聴き合い活動</p> </div> <p>秋のもので作ったり遊んだりした楽しさを友達と話し合い、まとめさせる。 《支援》 ポートフォリオ分析</p>	1 本 時

5 本時

秋の自然を取り入れて作った遊ぶものや遊び方の工夫を友達と聴き合うことを通して、「っ子ほうじょうや」で、園児と一緒に楽しく遊び、気づきを深める場面

(18 / 19)

6 本時の目標

秋の自然を取り入れて作った遊ぶものや遊び方の工夫をし、秋のよさや秋のもので遊ぶ楽しさへの気づきを深めることができる。(学習指導要領から)

友達と聴き合うことを通して、自分なりの感じ方を大切にしながら、園児とかかわって一緒に楽しく遊ぶことができる。(テーマから)

7 本時の授業仮説

秋を楽しく過ごすために、遊ぶものの工夫や遊び方の工夫について聴き合い活動を設定し、園児とかかわりながら遊び、自分の活動を振り返るポートフォリオ評価を行えば、秋のよさや秋のもので遊ぶ楽しさへの気づきを深めることができる子どもが育つであろう。

8 本時指導の考え方

本時のねらい

本時は、秋の自然を取り入れて作ったものについて友達と遊ぶものや遊び方の工夫について聴き合いをして、「っ子ほうじょうや」を開いて、園児と遊ぶことで、秋のよさや秋のもので遊ぶ楽しさへの気づきを深めることをねらいとしている。

前時までに子どもたちは、秋の自然の様子に気付いたり、自然と触れ合い、友達と楽しみながら作ったり遊んだりし、より楽しく遊ぼうと遊び方を工夫したりしている。また、ミニなかよしタイムで交流している園児に親しみをもって、一緒に作ったもので遊びたいという意欲を高めてきている。そのために、図工で行った「放生会スケッチ会」を想起し、お店を盛り上げるために場づくりをしたり、園児と楽しく遊ぶためにルールを考えたりしている。

交流活動の工夫について

秋のもので作ったものを見せて、園児と一緒に遊ぶための遊び方の工夫を話す交流活動を行う。聴き合う時には、「確かめ」や「質問」をすることを子どもとともに確認している。その子の考えを尊重しながら、「友達の遊び方の工夫のよさ」に着目させ、「っ子ほうじょうや」への意欲を高めたい。そのことを生かして、園児とかかわり、楽しく秋のもので遊ぶ活動を行いたい。

評価活動の工夫について

前時までの体験を通じた考えや毎時間ごとの自己評価カードを入れているポートフォリオを、本時場面においても振り返りながら活用する。ポートフォリオを見せながら、本時での聴き合い活動をして、「っ子ほうじょうや」への意欲をもたせる。学習の最後には、「っ子ほうじょうや」を振り返り、ポートフォリオを開いて、前時までの考えと比べながら、自己評価カードに記入して、自分の成長に気付いていくようにする。

・規準に満たない子への支援

園児にうまくかかわることができない子どもには、今までのなかよしタイムやミニなかよしタイムの活動を想起させ、かかわりをうながしていく。秋のよさを感じることができるように、遊び方の工夫とつなげて認めたり、賞賛したりして自信をもたせるような声かけをしていきたい。

9 準備

舞鶴公園の写真、これまでの園児との交流の写真、作ったもの、修理コーナー、ポートフォリオ、自己評価カード、机、椅子など

10 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援	評価基準		資料
<p>1 これまでの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>前時までを振り返り、本時めあてを確認し、学習の見通しがもてるようにする。</p>	基準 A	基準 B	<p>舞鶴公園の写真</p> <p>これまでの園児との交流の写真</p>
<p>本時のめあて： あそぶものやあそびかたのくふうをききあい、あかさかっこほうじょうやをひらいて、ようちえんのおともだちとたのしくあそぼう！</p>				
<p>2 自分が作ったものについて、園児との遊ぶものや遊び方の工夫について聴き合い活動をする。 作ったものを友達に見せながら、聴き合う。</p> <p>3 聴き合いをもとに「 っ子ほうじょうや」を開く。</p> <p>(1) 園児を迎え、お店屋さんになったり、案内したりして一緒に楽しく遊ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p><お店の内容> けんだまやさん ドングリめいるやさん まとあてやさん どんぐりごまやさん さかなつりやさん かざりやさん</p> </div> <p>(2) 挨拶をして、園児を見送る。 園児からの感想を聴く。 幼稚園の先生の話聴く。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 「 っ子ほうじょうや」をして頑張ったことを発表する。</p> <p>(2) ポートフォリオを振り返りながら、自己評価カードに記入し、発表させる。</p>	<p>遊び方の工夫を広げ、賞賛することで、「 っ子ほうじょうや」をする意欲や自信がもてるようにする。</p> <p>園児が安心して遊べるように、お店やさんと案内する人に分かれて、進んでかかわるようにする。</p> <p>頑張ったことを明確にしたり、つながりを大切にしたりするために園児と幼稚園の先生から話をしてもらうようにする。</p> <p>前時のポートフォリオと比べながら、頑張ったところを自己評価カードに記入させ、発表させる。</p>	<p>・大きな声で、ポートフォリオや作った作品を指さしながら工夫点を発表している。</p> <p>・聴き合いをもとに、自分から進んで、思いを聴きながら、園児にかかわっている。</p> <p>基準 B に達しない子への支援 ・園児のところに自分から行くようにうながしたり、お店に来た園児と話すように声をかけたりする。</p> <p>・園児とかかわりながら、二つ以上の点から秋のよさや秋のもので遊ぶ楽しさに気付いている。</p>	<p>・大きな声でポートフォリオを見せながら工夫点を発表している。</p> <p>・聴き合いをもとに、自分から進んで、園児にかかわっている。</p> <p>基準 B に達しない子への支援 ・板書やこれまでの学習を振り返ったりしながら、自己評価させる。</p> <p>・園児とかかわりながら、秋のよさや秋のもので遊ぶことが楽しさに気付いている。</p>	<p>作ったもの</p> <p>ポートフォリオ</p> <p>修理コーナー</p> <p>ポートフォリオ</p> <p>自己評価カード</p>
<p>5 次時の学習を知る。</p>		<p>基準 B に達しない子への支援 ・板書やこれまでの学習を振り返ったりしながら、自己評価させる。</p>		



ようちえんのおともだちが、おみせにきてくれて、どんぐりごまであそんだときに、うまくまわらなかったの、おしえてあげました。よくまわってよろこんでくれてうれしかったです。また、いっしょにあそびたいです。